



新しい試み

近畿教育オーディオロジー - 研究協議会
会長 上村 武(奈良県立ろう学校長)

この研究会も発足から5年目を迎えました。聾学校だけでなく、障害児教育が大きく変化しようとしています。普通高校への進学が、入学してからどんなことが出来るのかを明らかにして、いわゆる「入れる学校から行きたい学校へ」と変わろうとしているように、聾学校や聴覚障害児学級も、そこに在籍することによってどんなメリットがあるのかを明らかにする

必要に迫られています。それは、とりもなおさず、聴覚に障害がある幼児児童生徒にとって、あるいは保護者にとって「聾教育の存在理由を明らかにすること」だと思います。「学力をつけてほしい。」「自分の思いが相手に正しく伝わる方法を教えてほしい。」等の要望はこれまでも聞いていますが、詰まるところ、日本語をいかに理解することが出来るようになるか、にかかっていると思われま

す。聴覚の活用が可能な子どもにはさらにその能力を引き出せるような取組が求められ、手話を第一言語としたいと思う子どもには、やはり正

しい手話を教えることが必要となってくると思います。いずれにせよ、手話もコミュニケーションの重要な手段として認識する必要があると思います。

このような動きを的確に把握し、聴覚活用、手話、日本語獲得という課題について、その解決策を見つけ実践することが求められています。

今後ますます、この会の活動が活発化し、聴覚障害児のための新しい情報発信源として、また、ろう教育の新しい試みに少しでも役立つことを祈念して、ごあいさつといたします。

今年度の計画

平成15年	5月16日	第1回代表委員会 大阪市立聾学校
	6月中旬	講演会・講習会案内、機関紙第9号発行
	7月18日	第2回代表委員会 講演会・講習会準備
	7月19, 20日	講演会・講習会 大阪府立生野聾学校 アウィーナ大阪
	11月1日	秋の講演会 味覚糖UHA館(大阪市)
	12月末	機関紙第10号発行
平成16年	1月16日	第3回代表委員会 滋賀県立聾話学校
	1月17日	冬の学習会 (滋賀県内)
	2月中旬	機関紙第11号発行
	3月中旬	収録発行

平成15年度の事務局と代表委員の紹介

よろしくおねがいします



事務局長

会長	校長会代表	上村 武	(奈良県立ろう学校)
事務局長		中井 弘征	(奈良県立ろう学校)
事務局次長		本庄 良一	(京都府立山城高等学校)
事務局次長		藤原 彰子	(大阪府立生野聾学校)
会計		柳田 智子	(奈良県立ろう学校)
ホームページ		細矢 義伸	(京都府立聾学校)
機関紙		村尾 敏則	(滋賀県立聾話学校)
監査		緒方 順子	(兵庫県立こばと聾学校)

《代表委員》

聾学校		兵庫県立こばと聾学校	緒方 順子
滋賀県立聾話学校	高阪 圭佑	兵庫県立豊岡聾学校	松本 茂樹
京都府立聾学校	齋藤 正典	兵庫県立淡路聾学校	大西 政男
京都府立聾学校舞鶴分校	芦田 雅哉	各府県	
大阪府立生野聾学校	牧 浩子	京都府	高井 小織 (京都市立二条中学校)
大阪府立生野高等聾学校	栗田 悦子	大阪府	足立 貢 (大阪市立泉尾北小学校)
大阪市立聾学校	松浦 友紀	奈良県	梅村 健吾 (奈良市立椿井小学校)
奈良県立ろう学校	山根 久明	和歌山県	平野 真理 (橋本市立橋本小学校)
和歌山県立和歌山ろう学校	内門 祐	兵庫県	杉本 浩 (伊丹市立伊丹小学校)
兵庫県立神戸聾学校	大谷 淳子	滋賀県	(未定)
兵庫県立姫路聾学校	菅原 正広		

楽しい電池チェッカー作ってみました

補聴器を装用していて電池の出力が低下してきたときに気づかないでそのままになっていることがあるので日常的に気軽に電池を調べられる電池チェッカーを作ってみました。

材料 某社製電池チェッカー (写真中央左の黒いところ)
段ボール紙 保護用フィルム、説明書き (A4サイズ)

保護シートはパソコン印刷用や製本用など様々なタイプがあります。今回使ったものは文房具店で購入の保護・補強用フィルムです。通常の電池チェッカーと異なり、FMマイクや人工内耳のスピーチプロセッサの単三電池などは調べられませんが教室に1つあるととても便利です。今回のように大きく作ると落としたり無くしたりせず、子どもたちも楽しく電池のチェックができることでしょう。写真のものは壁に貼り付けているのですが教室では机の上でも調べられるように普段は紐で壁に掛けておく方が良いと思われます。製作費は900円ほどですが、そのほとんどは電池チェッカー代でした。



近畿教育オーディオロジ - 研究協議会の会員様に限り実費にて製作いたします。
サイズA3ノビまで、デザイン・材質については相談させていただきます。
限定10個 しめきり平成15年7月31日 お申し込みは機関紙担当まで

劇的アフター→

代表委員の内門先生から
学校の紹介が届きました。

和歌山県立和歌山ろう学校

～新しい幼稚部棟・聴力検査室の紹介～



4月から新しい幼稚部棟に引っ越しました。
聴力検査室は、1階です。
聴力検査室も標準検査室とプレイ検査室が
完全に2部屋に分かれました。とても広く（以前と比べて）、
便利になりました。
幼稚部棟全景（洋風な建物でしょう！）



プレイ検査室



入口
プレート



標準検査室



周波数特性検査室



今後は、検査室の機器・環境も充実させていきたいです。何か良いアドバイスがあれば、
よろしくお願いします。みなさん、一度、見学に来てください。

和歌山県立和歌山ろう学校

〒640-8272 和歌山市砂山南3丁目1-73

電話073-424-3276 FAX073-424-0310

機関紙担当より：

みなさんの学校の様子を機関紙に
載せてみませんか？内容は自由で
す。

編集後記『機関紙について』と『補聴器カバーについて考えてみました』

近畿教育オーディオロジー・研究協議会にご入会いただきありがとうございます。

昨年度まで当ニュースを『機関誌』と呼んでいましたが今年度から『機関紙』に呼び名を変えました。『機関紙』への変更と採り上げる記事について第1回代表委員会で論議しました。

機関紙にはこれまでも各地の研修会の情報を載せてきていますが、申し込み期限が発行日までに過ぎて機関紙に載せられないケースが多くあります。当協議会にはホームページが開設されており、各地の情報が寄せられ次第載せることになっておりますので、ホームページ担当まで各地の情報をお願いいたします。もちろん機関紙にもこれまで通り各地の情報を載せていく予定です。ホームページの担当は京都府立聾学校の細矢先生です。ホームページにある機関紙のバックナンバーもぜひご覧ください。

機関紙では情報の発信だけでなく会員読者の皆様と情報の交換、さらに楽しい紙面づくりを目指して参ります。前号での懸賞クロスワードはその一つとして実施してみました。懸賞に費用はかけないことしておりますので今後は懸賞なしのクイズなどを考えております。

さて、6月に入って暑くなってきました。梅雨の便りも聞かれるこの時期は補聴器にとって厳しい季節です。私の勤める学校でも5月下旬から汗によると思われる補聴器の故障が増えてきました。元気に遊んだりスポーツに励んだりしている証拠なのですが、一夏で2回以上故障する人もいますので今年は補聴器カバーをもっと知ってもらおうと検査室の入口に補聴器カバーのポスターを大きく貼り出しています。さらに、幼稚部の先生が保護者の方々にもお知らせしよう

ということで補聴器カバーの見本を回覧していただいています。

ところで補聴器カバーと言っても様々な種類があります。例えば作業用手袋の指の部分の部分を切ってカバーにすると格安でカバーを大量に作ることができます。もちろん補聴器メーカーから発売のものもありますし、薬局で売っている指包帯などもよく使われています。私が研究用に持っているのは、ある補聴器販売店のオリジナルで、上下とも開いているタイプのカバーです。これだと電池の交換が素早くできますし、補聴器の電池ボックス付近に取り付けるFM受信機のスイッチも確認できます。オーディオとの接続コードも繋げやすくなっています。このカバーにチューブを通して輪を作れば簡単にハギーエイド(補聴器を耳から外れにくく固定できるもの)が作れます。補聴器カバーはどれも機能としての差はあまりないと思われませんが、汗をかいたら取り替えるということがなによりも大切です。こまめに交換すれば湿気が補聴器内部にこもりませんし、取り替えるとさっぱりして気持ち良いものです。寝るときには乾燥剤入りのケースに補聴器を保管することと合わせて徹底することで補聴器の故障が減るかもしれません。

私が最近気に入っているのがカラフル補聴器カバーです。先日注文したところは手作りで、サイズ、色とも豊富にあり人工内耳用もありました。これだとおしゃれとしても楽しめます。今後はパーティーなどの催しや冠婚葬祭に合わせてカバーを替えるといった新たな使われ方が生まれてくるかも知れません。私もビーズなどで装飾したカバーを作って本校の文化祭に出品しようかと考えています。

	A		O
	A		R
	B	O	A
V	R	A	
		E	

前号クロスワードの答え

おもしろかった、本で調べたり人に尋ねたりして勉強する機会になった、などの感想が寄せられました。

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局 事務局長 中井 弘征

〒639-1122

TEL 0743-56-2921

奈良県大和郡山市丹後庄町456

FAX 0743-56-8833

奈良県立ろう学校内

メール h-nakai@indigo.plala.or.jp



近畿教育オーディオロジー研究協議会ニュースへ 情報をお寄せください

〒520-3014 滋賀県栗東市川辺664 滋賀県立聾話学校 聴力検査室

村尾 敏則(近畿教育オーディオロジー研究協議会 機関紙担当)

TEL 077-552-1352(聴力検査室直通) FAX 077-554-1538

メール JZJ02634@nifty.ne.jp